

地域づくりのタネを育てる、想いを引き出す対話の場づくり

講演編 登壇者

株式会社MIMIGURI
代表取締役Co-CEO
安齋 勇樹 氏



1985年生まれ。東京都出身。私立武蔵高校、東京大学工学部卒業、東京大学大学院学際情報学府博士課程修了。博士（学際情報学）。ウェブメディア「CULTIBASE」編集長。企業経営と研究活動を往復しながら、人と組織の創造性を高めるファシリテーションの方法論について探究している。主な著書に『問いのデザイン：創造的対話のファシリテーション』、『問いかけの作法：チームの魅力と才能を引き出す技術』、『リサーチ・ドリブン・イノベーション』、『ワークショップデザイン論』などがある。

参加者の創造性を引き出すような対話の場をつくりたい人必見!!

講演編

地方創生のタネを育てる
対話の場づくり

投げかける問いのポイントが分かる!

講演編

11月22日(火)
18:00 ~ 19:00
(終了後30分間ネットワーキング)

実践演習編

11月25日(金)
14:00 ~ 17:00

場所：オンライン (zoom)

参加費：無料

主催：環境省

申込み：下記URLよりご応募ください。

<https://forms.gle/E78nfUTpWyygG3y58>

実践演習編

対話の場づくりの
流れとポイント
身につける

地域づくりにすぐに活用できる対話の場づくりの流れやポイントを知りたい方におススメ

講演編

ありたい地域のビジョン構築や地域課題解決に向けた事業のアイデア出しなど、地域づくりは常に仲間たちと話し合い、議論しながら進めていく必要があります。

そのための対話の場づくりは地域づくりの基盤ともいえますが、どのようにして対話の場を設計していけばよいのか分からないといった方も多いのではないのでしょうか。

今回は、組織の創造性を引き出してきた株式会社MIMIGURIの安齋勇樹さんに、様々な方の想いを引き出すために重要な「問いのデザイン」についてお話しいただきます。

実践演習編

「どのようにして対話の場を設計していけばよいのか分からない」「対話の場を実践してみているが、いまいち手ごたえが無い」との悩みがある方も多いかもしれません。

実践演習編では、ワークシートを作成したり、グループワークで参加者同士で意見を交わしたりしながら、対話の場づくりの基本的考え方や流れ、おさえるべきポイントを理解し、場づくりに向けた具体的な動き方をイメージすることができます。

なお、実践演習編は、講演編に参加いただいた方のみ参加可能となっていますので、講演編と併せてお申し込みください。

18:00~18:10	オープニング
18:10~18:40	講演
18:40~19:00	質疑応答
19:00~19:30	ネットワーク (任意参加)

14:00~14:30	オープニングセッション
14:30~15:30	グループワーク① ※共有時間含む
15:30~16:40	グループワーク② ※共有時間含む
16:40~17:00	クロージングセッション

※プログラムの内容や時間配分などは参加人数に応じて変更になる可能性があります。一度休憩をはさみます。

<ファシリテーターのご紹介>

地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業コーディネーター 高橋 真寿美さん

人事コンサルティング会社に新卒入社、大手企業向け研修事業やコンサルティングに従事。その後、経済産業省に出向。地域創業の促進やベンチャー支援政策に携わる。個人として省庁や自治体・NPO法人などの支援を行う。平成31年度より地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業にて、コーディネーターを務める。



【お問合せ先】地域循環共生圏PF セミナー事務局 / E-mail: seminar@chiikijunkan.jp